心の教室相談だより　１月

令和２年１月８日　第６号

中野区立桃園第二小学校長　山崎義弘
東京都スクールカウンセラー(SC)　西村 豪
中野区心の教室相談員　西上寛樹

～ なんで“正”月なの？ ～

明けましておめでとうございます。今の学年で過ごす期間は短いですが、今年もよろしくお願いします。

さて、１月のことをどうして『正月』と呼ぶか知っていますか？頑張って“政”治をしていた中国の古い王様（秦の始皇帝）がいて、その人の生まれた月を『“政”月』と呼ぶようになり、だんだんと『“正”月』と書くようになった…という説があるそうです。“政”という漢字は画数が多いので、省略されていったのでしょうね。

では、ここでクイズです。１月１日のことを『元旦』と呼びますが、どうしてそう呼ぶのでしょうか？分かった人、知っている人は、相談室の先生に答えを知らせに来てください。

～ 心の教室のお約束 ～

- 話したいことがある人は、スクールカウンセラー（ＳＣ）か心の教室相談員がいる日の中休みと昼休みに話しに来ることができます。
- 心の教室は、遊びたいだけの人は入れません。
- 先に話しに来ている人がいたら、ノックしたり、部屋に入ったりしないでください。
- 話したいけれど話すことができないときは、手紙を書いて心の教室前のポストに入れてください。手紙には、どうやって返事をしたらよいかも書いてください。
- 急いで手紙の返事が欲しいときや、なるべく早く話したい（相談したい）ときは、担任の先生にお願いしてください。

～　保護者の皆様へ　～

一時期、『トリビアの泉』というテレビ番組が流行しました。いわゆる雑学を紹介する番組です。下品な内容や差別的な表現も少なからず含まれていましたが、『生活上は知らなくても困らない知識を得る』という学習と息抜きの合間のような体験は、当時学生だった私の研究欲を刺激したものでした。

学んだり知ったりすることは生命として生存するための一機能だったのかもしれませんが、現代、殊人間においては『楽しみ』の一つなのではないでしょうか。学校での学習だけでは無く、ときおり『知ることの喜び』そのものを振り返ることができれば、学校での学習も新たな気持ちで臨めるのではないかと思い、表面に込めてみました。

ちなみに、私は表面を書くにあたり『政』の部首名が分からなかったので web で調べました。ぼくづくり、のぶん等と呼ばれているそうです。心の中で『へぇ』ボタンを押したのは言うまでもありません。（もしかしすると学校の授業を聞き漏らしていただけかもしれませんが…）

【心の教室ご利用案内】

相談室開室予定は下記の通りです。なお、保護者の方からのご相談は SC 在席日（下表で☆印の日）のみ、1 回のご相談は 45 分間程で承っています。来室によるご相談は、電話番号 03-3363-0661 にご連絡の上、希望の日時をご指定ください。副校長（川畑）もしくは養護教諭（櫻庭）、特別支援教育コーディネーター（髙橋、重原、氏原）へご連絡いただけるとスムーズです。

１月　心の教室開室日時

☆	8日(水)	8:15 ～ 16:45		20日(月)	8:15 ～ 12:15
	9日(木)	8:15 ～ 12:15	☆	22日(水)	8:15 ～ 16:45
	14日(火)	8:15 ～ 12:15		24日(金)	8:15 ～ 12:15
☆	15日(水)	8:15 ～ 16:45	☆	29日(水)	8:15 ～ 16:45
	16日(木)	8:15 ～ 12:15		30日(金)	8:15 ～ 12:15

２月　心の教室開室日時

	3日(月)	8:15 ～ 12:15		17日(月)	8:15 ～ 12:15
☆	5日(水)	8:15 ～ 16:45	☆	19日(水)	8:15 ～ 16:45
☆	12日(水)	8:15 ～ 16:45		21 日(金)	8:15 ～ 12:15
	13日(木)	8:15 ～ 12:15		25 日(火)	8:15 ～ 12:15
	14日(金)	8:15 ～ 12:15		27日(木)	8:15 ～ 12:15